

「技術を磨けば未来が光る」 石巻 高技専NEWS

〔発行元〕

宮城県立石巻高等技術専門校

〒986-0853

石巻市門脇字青葉西2-7-1

☎02225(22)

1719

令和4年 7月 1日発行

素材にはさまざまなものがありますが、手で触れたときにぬくもりが感じられ、使い込むほど色合いが深まっていくのは、やはり木です。

一方で、木はそれぞれに個体差があるため、なかなか加工が難しく、扱いを誤ると途中で壊れてしまうこともあります。

当校の木工科では、1年間の課程の中で、基本的な工具の使い方から塗装の方法、CADを使った設計まで訓練を行い、最終的には自分でデザインした家具を作れるようになります。

木の性質を知るにはかんない掛けから

木工科の訓練はまず、かんないの掛け方から始まります。安定して削れるようになるためにはかなり苦勞しますが、木目やねじれ、よじれなど、木の性質について知るためには最も適した訓練です。また、木の状態や作業内容に合わせた工具の調整方法も学んでいきます。



かんない掛けの訓練。かんなくずが安定した長さで続くようになるまでは、相当の時間がかかる。

基本に忠実に、ていねいに

続いて、のこぎりとのみの使い方を学び、金具を使わずに木と木を組み合わせる「継ぎ手」を作ってみます。正確な寸法で切る・削るを行わないと、組み合わせられません。基本に忠実に、一つ一つていねいに作業を行います。

並行して、素材を生かした塗装や仕上げの方法についても学んでいきます。



試作品を作る

学んだ技術を使って、試作品を作ります。まずはスツール（腰掛け）から。継ぎ手の技術を使って作ります。1度目は加工しやすい樹種で、2度目は堅くて削りづらい樹種で作ります。

スツールの次は、整理箱。引き出しが何段もあるため、作業は複雑になります。寸法が正確でないと、引き出しがスムーズに開閉しませんので、これまでの成果が問われます。2度目は、引き出しの段数がさらに多いものを作ります。あわせて、機械加工やCADを使った設計の技術も学びながら、やや大型の整理棚、組子を使った置き床なども作っていきます。



訓練生が作成したスツール(右上)、整理箱(左上)、置き床(下)

自分でデザインした家具を作る

いよいよ修了製作です。訓練生は自分の作りたい家具をデザインし、図面、工程表を作成し、必要に応じて模型を作って確認・修正を行いながら、作業を進めていきます。目論見どおりに行かない場合も多くありますが、試行錯誤を重ねながら解決方法を模索することも、将来のために重要な訓練になります。

できあがった作品は販売も

できあがった作品は、訓練生たちが学んできた成果を地域の人にお披露目するイベントで販売しています。ここ数年、コロナウィルスの影響で中止が続いたため昨年度は、インターネットを通じて販売を行ったところ、多くの方々に購入していただきました。



過年度の販売会の風景

オープンキャンパス等で見学を

当校の訓練に興味のある方は、毎年7月と9月にオープン・キャンパスを開催していますので、ぜひいらしてください。また、随時学校見学を受け付けていますので、お気軽に御連絡ください。

当校公式Twitterを開設しました！
下記QRコードからぜひ閲覧してみてください。



石巻高等技術専門校